業務デザイナー機能説明書 帳票結合定義編

目次

þ.	長票結合定義	3
	帳票結合定義とは	3
	帳票結合定義の活用方法	4
	帳票結合定義の検索	.10
	帳票結合定義の作成	. 12
	出力定義設定	13
	帳票項目インポート	14
	出力帳票定義一覧	16
	出力帳票定義設定	17
	出力列定義画面	21
	帳票結合定義の複写	. 22
	帳票結合定義の変更	. 24
	帳票結合定義の削除	. 26
	帳票結合定義のエクスポート	. 27
	帳票結合定義インポート	. 29
	補足説明1. データ管理の利用表について	. 32
	補足説明2. 帳票削除時の動作について	. 32

帳票結合定義

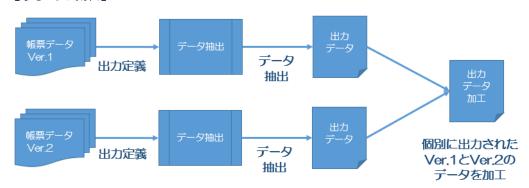
複数の帳票定義を結合させ、帳票データをまとめて出力するための結合 定義を作成する機能です。作成した帳票結合定義はデータ抽出機能で利 用することで出力が可能となります。

帳票結合定義とは

複数の帳票定義を結合させ、帳票データをまとめて出力するための結合定義を作成する機能です。 帳票結合定義を活用することで、異なるバージョン(帳票 ID)の帳票データを一つの帳票データと して出力することが可能になります。

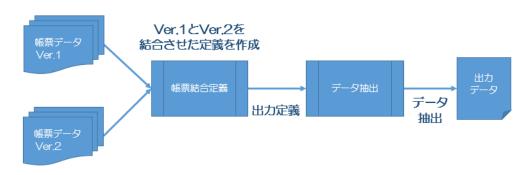
作成された定義はデータ抽出定義で利用することでデータ出力が可能となります。

【今までの流れ】



これまではバージョンアップなどで帳票が分かれてしまった場合に、各々の帳票データを出力した 後にデータ加工を行い、結合する必要がありました。

【帳票結合定義を用いた流れ】



事前に帳票結合定義にて、複数に分かれた帳票を一つにまとめる帳票結合定義を作成しておけば データ抽出にて一つのデータとして出力することが可能となり、データ加工は不要になります。

帳票結合定義の活用方法

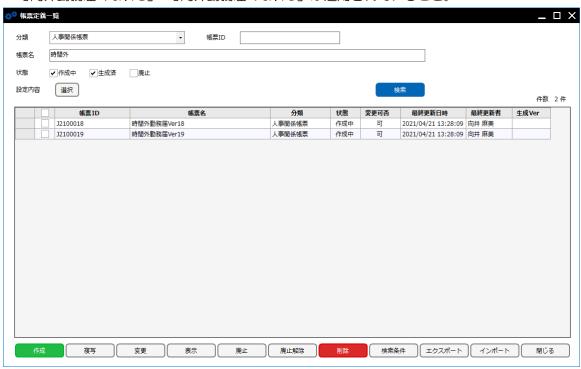
帳票結合定義を利用したデータ抽出の運用方法を、例をもとにご紹介します。

1. 操作内容

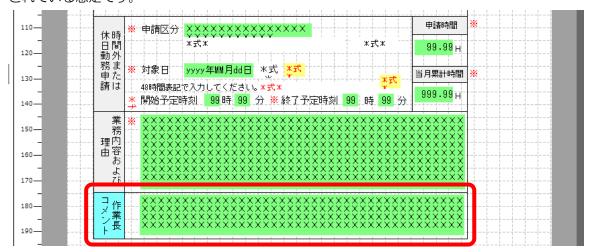
帳票結合定義とデータ抽出定義、データ抽出機能を利用し、バージョンの異なる「時間外勤務届 Ver.18」「時間外勤務届 Ver.19」をまとめて出力する。

2. 前提事項

「時間外勤務届 Ver.18」「時間外勤務届 Ver.19」が運用されていること。



「時間外勤務届 Ver.19」は「時間外勤務届 Ver.18」に加えて、入力枠「作業長コメント」が追加されている想定です。

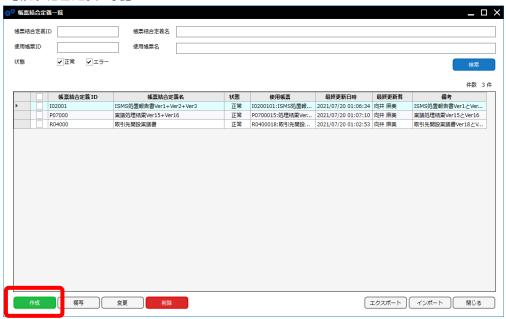


3. 設定の流れ

3-1. 帳票結合定義の設定

クライアントアプリケーションの「帳票結合定義」メニューより帳票結合定義一覧画面を 表示します。

【帳票結合定義一覧】



[作成]ボタンをクリックし、出力定義設定画面を表示します。

出力定義設定では出力する項目の定義や、出力列の名称を設定します。

帳票項目インポートを利用すると、雛形となる帳票の項目を取り込むことができます。

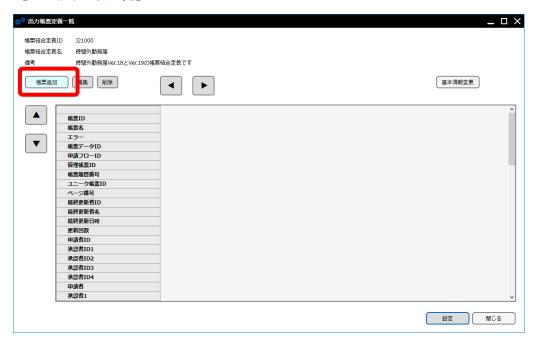
【出力定義設定】



[設定]ボタンをクリックし、出力帳票定義一覧画面を表示します。

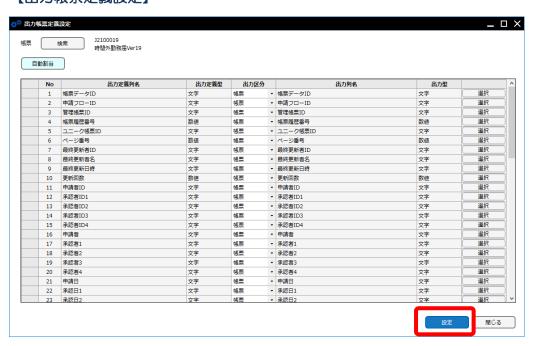
出力帳票定義一覧画面では出力定義設定画面で定義した出力列に対して、帳票項目の割り当てを行います。割り当てについては帳票項目または固定値を設定することができます。

【出力帳票定義一覧】

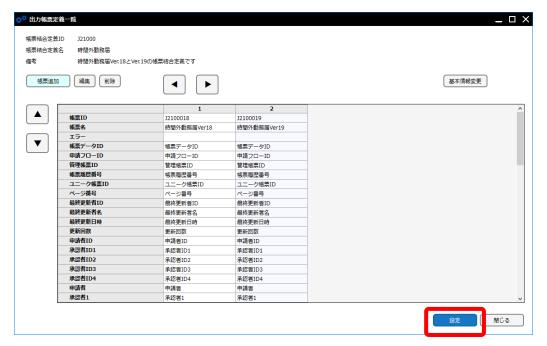


[帳票追加]ボタンをクリックして出力帳票定義設定画面を表示し、抽出対象の帳票を選択します。

【出力帳票定義設定】

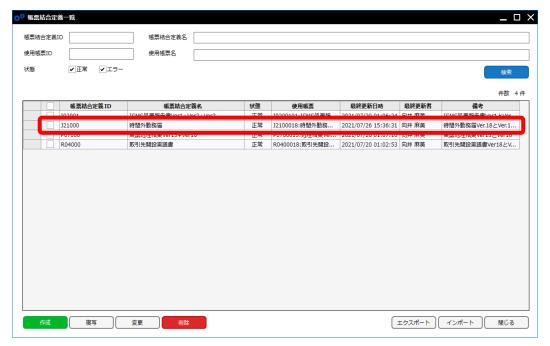


[設定]ボタンをクリックすると、追加した帳票の情報が出力帳票定義一覧画面に設定されます。



出力列に対して、帳票項目の割り当ておよび固定値の設定ができた後、[設定]ボタンをクリックし、 帳票結合定義の登録処理を行います。

登録が完了すると帳票結合定義一覧画面へ戻り、登録した帳票結合定義が表示されます。



3-2. データ抽出定義の設定

帳票結合定義を登録するとデータ抽出定義の利用表に登録されるので、登録された利用表を使用してデータ抽出を行います。

クライアントアプリケーションの「データ抽出定義」メニューよりデータ抽出定義一覧画面を表示し、[作成]ボタンをクリックしてデータ抽出定義設定画面を表示します。

【データ抽出定義設定】



帳票結合定義(時間外勤務届[bd_v_union_j21000])が作成されています。

出力対象のカラムを選択し、[設定]ボタンをクリックして登録処理を行います。



データ抽出定義については通常の利用表と同様に作成することが可能です。

データ抽出定義の作成方法については [データ抽出定義編] をご参照ください。

3-3. データ抽出

クライアントアプリケーションの「データ抽出」メニューよりデータ抽出画面を表示します。 【**データ抽出**】



作成した「時間外勤務届」を選択して実行します。

データ抽出を実行すると、異なるバージョンで申請された帳票データがまとまって出力されます。

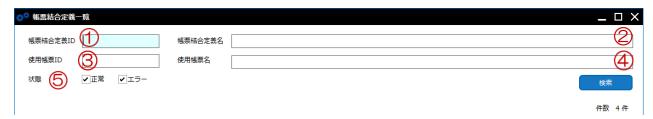


帳票結合定義の検索

現在登録されている帳票結合定義の一覧を表示します。この画面より帳票結合定義の作成・複写・ 変更・削除・インポート・エクスポートを行うことができます。

1. [データ管理] メニュータブの [帳票結合定義] ボタンをクリックする

【帳票結合定義一覧の検索エリア】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	帳票結合定義 ID	文字	16	帳票結合定義 ID を部分一致で検索します。
2	帳票結合定義名	文字	60	帳票結合定義名を部分一致で検索します。
3	使用帳票 ID	文字	15	使用帳票ID を部分一致で検索します。
4	使用帳票名	文字	60	使用帳票名を部分一致で検索します。
5	状態	-	-	状態を以下のリストより選択し、検索します。 ・正常 ・エラー

2. 入力後、[検索] ボタンをクリックする

【帳票結合定義一覧画面】



【項目の説明】

No.	項目名	説明
1	作成	クリックすると、出力定義設定画面に遷移し、新たに帳票結合定義情報を作成します。
2	複写	クリックすると、出力定義設定画面に遷移し、選択した行の帳票結合定義情報を複写します。
3	変更	クリックすると、出力帳票定義一覧画面に遷移し、選択した行の帳票結合定義情報を変更します。選択した行をダブルクリックした場合も同じ動作となります。
4	削除	クリックすると、選択した行の帳票結合定義情報を削除します。
5	エクスポート	クリックすると、選択した行の帳票結合定義情報をファイルにエクスポートします。
6	インポート	クリックすると、帳票結合定義インポート画面に遷移し、帳票結合定義情報をインポートします。
7	使用帳票	帳票結合定義で割り当てている帳票を表示します。使用帳票のセルをダブルクリックすると、使用帳票を一覧で確認することができます。

帳票結合定義の作成

帳票結合定義を新規作成します。

1. [作成] ボタンをクリックする 【帳票結合定義一覧画面】



出力定義設定

帳票結合定義の基本情報(帳票結合定義 ID・帳票結合定義名・備考・出力定義設定)を設定します。 本画面で設定した内容がデータ抽出定義の利用表名・項目名となります。

1. 出力定義の入力を行い、[設定] ボタンをクリックする 【出力定義設定画面】



【項目の説明】

	[-X-1-0-10]]						
No.	項目名	型	桁数	説明			
1	帳票結合定義 ID	文字	16	帳票結合定義 ID を入力します。			
2	帳票結合定義名	文字	60	帳票結合定義名を入力します。			
3	備考	文字	60	備考を入力します。			
4	帳票項目インポー ト	-	_	クリックすると、帳票項目インポート画面に遷移し、既存の帳票より出力列を選択して出力定義設定の一覧に追加します。			
5	項目削除	_	_	クリックすると、選択した行の出力列を削除します。			
6	項目追加	_	_	クリックすると、出力定義設定の一覧に出力列の行を追加します。			
7	A	_	_	クリックすると。選択した行を 1 つ上に移動します。			
8	▼	_	-	クリックすると。選択した行を 1 つ下に移動します。			
9	出力型	-	-	出力型を以下のリストより選択します。・文字・数値			

帳票項目インポート

出力定義設定の際、出力列を帳票定義の項目から取り込む場合に利用します。

1. [帳票項目インポート] ボタンをクリックする

【出力定義設定画面】

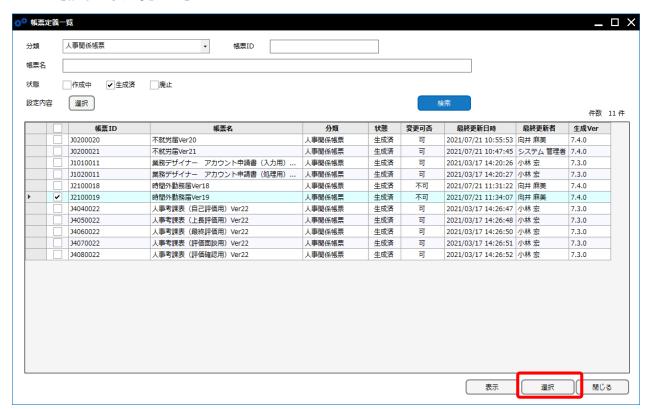
📫 出力定義設定		_ 🗆 X
帳票結合定義ID *		
帳票結合定義名 *		
備考		
帳票項目インポート	項目削除 項目追加	

2. [検索] ボタンをクリックする 【帳票項目インポート画面】

🙌 帳票項目インポート			×
※出力定義の元となる帳票を選択し、出力する帳記 帳票 検索	賈項目をインボートしてください。		
項目削除			
No.	出力列名	出力型	

3. インポート対象の帳票を検索し [選択] ボタンをクリックする

【帳票定義一覧画面】



4. インポート対象の出力列を残し [インポート] ボタンをクリックする 【帳票項目インポート画面】

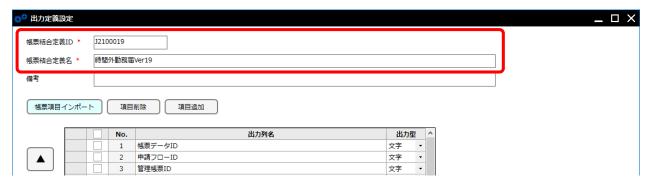


【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	検索	_	-	クリックすると、帳票定義一覧画面に遷移し、既存の帳票を検索します。
2	項目削除	_	-	クリックすると、選択した行の出力列を削除します。
3	A	-	-	クリックすると。選択した行を 1 つ上に移動します。
4	▼	_	-	クリックすると。選択した行を 1 つ下に移動します。

帳票項目インポート画面で検索した出力列が出力定義設定画面の出力列一覧にインポートされます。 帳票項目インポートを実行した時点で「帳票結合定義 ID」「帳票結合定義名」が未入力の場合、インポートした帳票定義の帳票 ID、帳票名が自動的に入力されます。

【出力定義設定画面】



出力帳票定義一覧

選択中の帳票結合定義に紐づけられた出力帳票・帳票項目を確認する画面です。出力帳票の追加や 紐づけられた出力帳票・帳票項目の変更・削除を行います。

1. 帳票項目の割り当てを行い、[設定] ボタンをクリックする 【出力帳票定義一覧画面】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明			
1	帳票追加	-	_	クリックすると、出力帳票定義設定画面に遷移し、既存の帳票より出力列を選択して出力帳票定義一覧に追加します。			
2	編集	-	_	クリックすると、出力帳票定義設定画面に遷移し、割り当て済みの帳票項目を 変更することができます。			
3	削除	-	_	クリックすると、選択中の帳票を削除します。			
4	◀	-	-	クリックすると、選択中の帳票を1つ左に移動します。			
5	>	-	_	クリックすると、選択中の帳票を1つ右に移動します。			
6	基本情報変更	-	-	クリックすると、出力定義設定画面に遷移します。			
7	A	-	-	クリックすると、選択中の帳票(列)で選択セルより上方向に存在するエラーのセルへ移動します。エラーが存在しない場合は出力定義設定画面で設定した出力列名の先頭のセルに移動します。			
8	▼	_	_	クリックすると、選択中の帳票(列)で選択セルより下方向に存在するエラーのセルへ移動します。エラーが存在しない場合は最後のセルに移動します。			

出力帳票定義設定

出力帳票の選択、出力項目割当一覧を設定する画面です。帳票を選択し、自動割当もしくは個別に 編集することで出力列名・出力型を設定します。

1. [帳票追加] ボタンをクリックする

【出力帳票定義一覧画面】



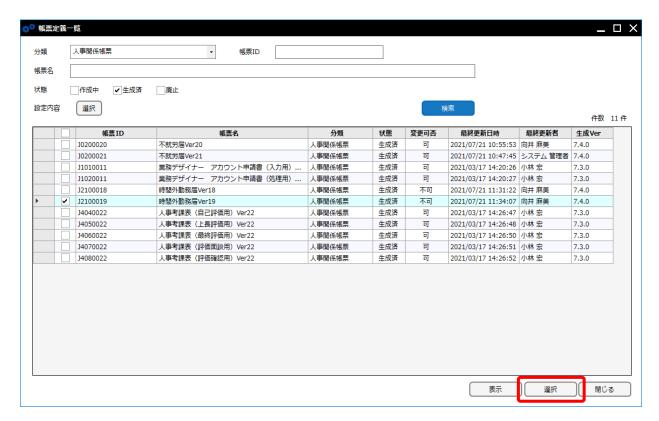
2. [検索] ボタンをクリックする

【出力帳票定義設定画面】

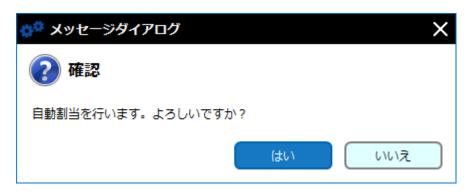


3. 出力対象の帳票を検索し [選択] ボタンをクリックする

【帳票定義一覧画面】



4. [はい] をクリックする



帳票項目の自動割当を行う場合は [はい] を選択してください。出力定義列に対して個別に帳票項目を割り当てる場合は [いいえ] を選択してください。

自動割当を行った場合、出力定義列名と帳票項目名が同じものが自動的に設定されます。

5. 出力帳票定義設定を入力し [設定] ボタンをクリックする

出力定義列名に対する、出力区分と出力列名を入力し、設定ボタンをクリックします。 出力区分は帳票と固定値が選択でき、固定値を選択した場合は出力列名に任意の値を入力 することが可能です。

【出力帳票定義設定画面】



【項目の説明】

	2-71-1-7-17-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-	•		
No.	項目名	型	桁数	説明
1	検索	_	-	クリックすると、帳票定義一覧画面に遷移します。
2	自動割当	_	_	クリックすると、出力定義列名と帳票項目名が同じものが自動的に設定されます。
3	出力区分	-	-	出力区分を以下のリストより選択します。 ・帳票 ・固定値
4	選択	-	_	クリックすると、出力列定義画面に遷移します。

【出力帳票定義一覧画面】



出力帳票定義設定画面で追加した帳票の情報が追加されています。

出力列定義画面

出力列名・出力型の割当を行う画面です。選択中の出力定義列に帳票項目を設定します。

1. 帳票項目の割当を行う項目の [選択] ボタンをクリックする

【出力帳票定義設定画面】

了予定:分	MIT					選択
J J'AE + JJ	数値	帳票	•	終了予定:分	数値	選択
務内容および理由	文字	帳票	-	業務内容および理由	文字	選択
業長コメント	文字	帳票	_	作業自っいた	++=	選択

2. 帳票項目を検索し、選択する

該当帳票に対して、ページ名と項目名を検索条件として検索することができます。

帳票項目にチェックをつけて [選択] ボタンをクリックすると、出力帳票定義設定画面に反映します。

【出力列定義画面】

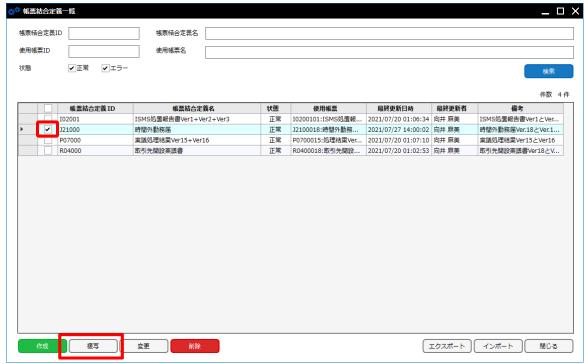


【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	ページ名	-	-	該当帳票のページ名がリストに表示されます。
2	項目名	文字	40	項目名を部分一致で検索します。

帳票結合定義の複写

1. 帳票結合定義を選択し、[複写] ボタンをクリックする

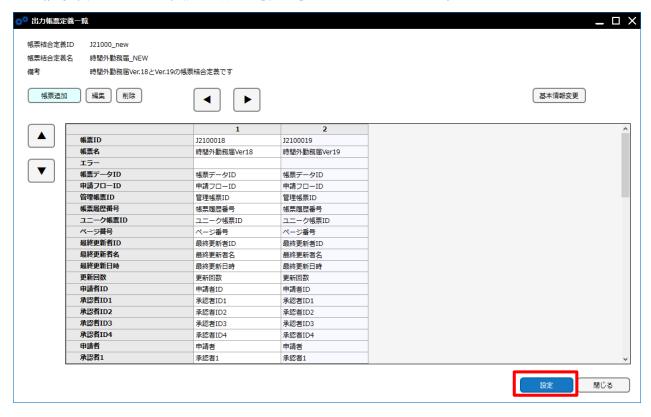


2. 内容の変更を行い、[設定] ボタンをクリックする

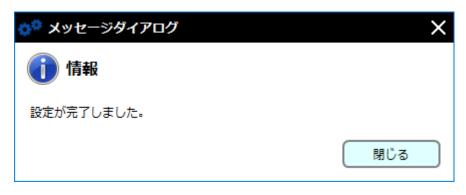
入力内容の説明については、[帳票結合定義の作成]をご参照ください。



3. 帳票項目の追加・変更を行い [設定] ボタンをクリックする



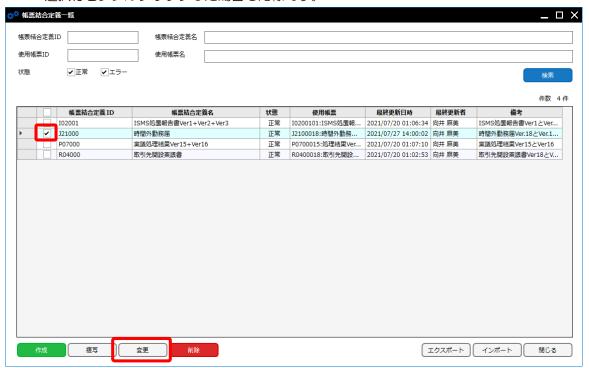
4. 設定が完了する



帳票結合定義の変更

1. 帳票結合定義を選択し、[変更] ボタンをクリックする

選択行をダブルクリックした場合も同様です。

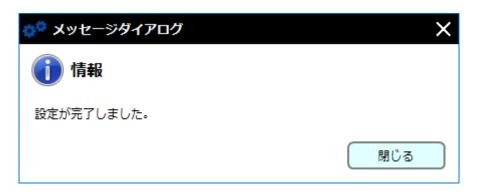


2. 帳票項目の追加・変更を行い [設定] ボタンをクリックする

入力内容の説明については、[帳票結合定義の作成]をご参照ください。

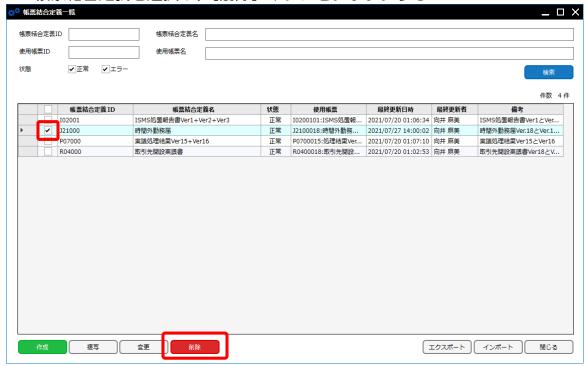


3. [はい] ボタンをクリックする

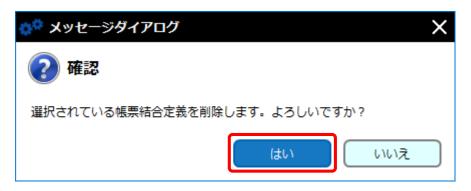


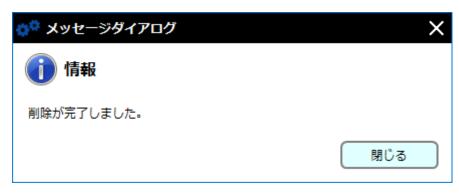
帳票結合定義の削除

1. 帳票結合定義を選択し、[削除] ボタンをクリックする



2. [はい] ボタンをクリックする

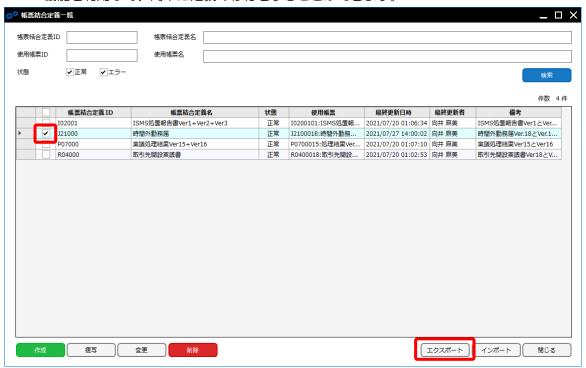




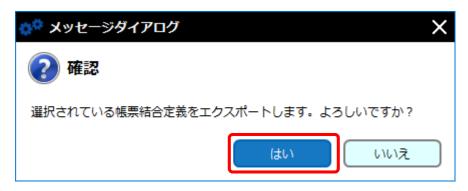
帳票結合定義のエクスポート

1. 帳票結合定義を選択し、[エクスポート] ボタンをクリックする

作成された帳票結合定義を検証機から本番機に移行する場合などは、エクスポート・インポートの 機能を利用して、簡単に定義の移行をすることができます。

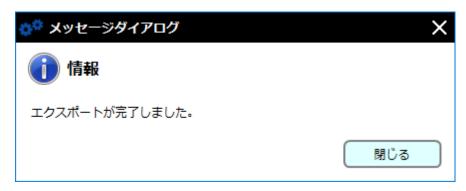


2. [はい] をクリックする



3. 任意の場所に名前を付けて [保存] をクリックする

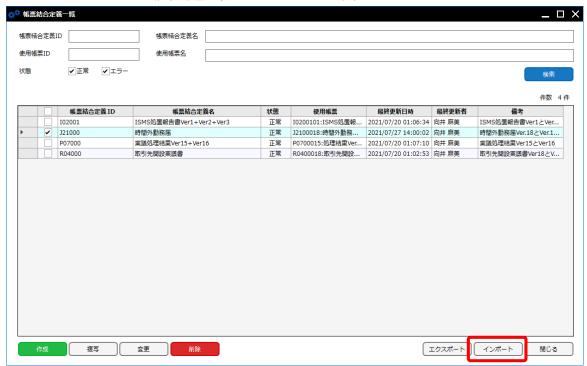




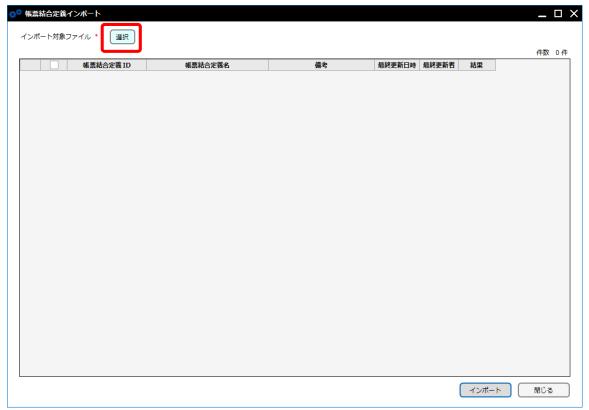
帳票結合定義インポート

1. [インポート] ボタンをクリックする

エクスポートした帳票結合定義をインポートします。

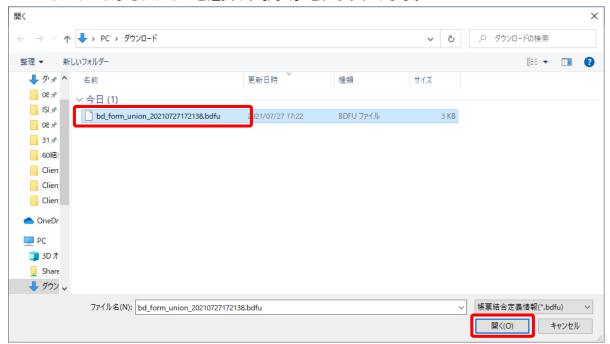


2. [選択] ボタンをクリックする

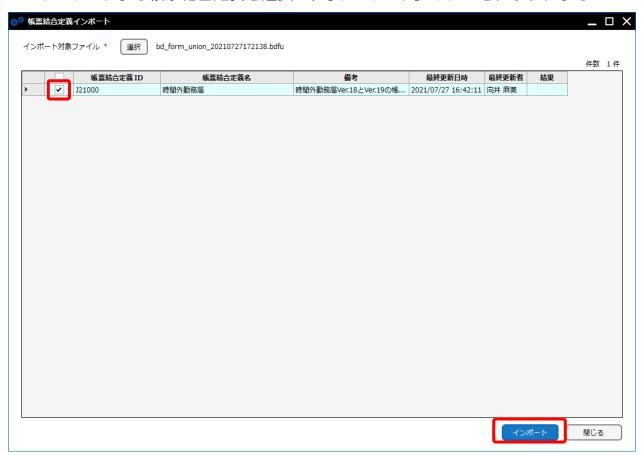


3. インポートするファイルを選択する

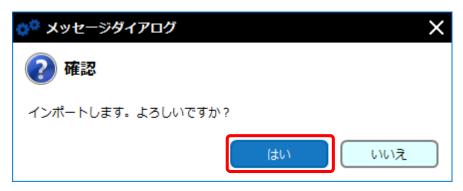
インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。

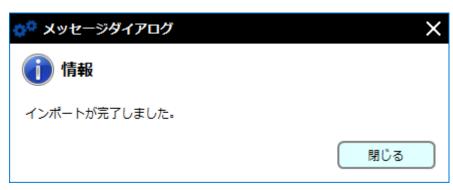


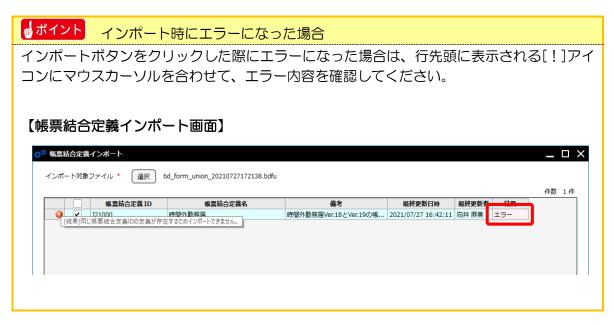
4. インポートする帳票結合定義を選択し、[インポート] ボタンをクリックする



5. [はい] をクリックする







補足説明1. データ管理の利用表について

帳票結合定義作成・更新時にデータ管理の利用表が自動的に作成されます。

作成された定義は利用表定義で変更は可能ですが、帳票結合定義の更新時に変更内容は戻りますの でご注意ください。

帳票結合定義削除時は利用表も削除されますが、作成した抽出条件は自動的に削除されませんので データ抽出定義より個別に削除を行ってください。

補足説明2. 帳票削除時の動作について

帳票結合定義で出力帳票として指定している帳票も削除が可能です。

帳票削除後は帳票結合定義からも出力帳票を削除する必要があります。

出力帳票を削除せずにデータ抽出で出力するとエラーになりますのでご注意ください。

書 名:業務デザイナー 機能説明書(帳票結合定義編)

発行元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2021年12月20日

©2021 UnionThink CO.,LTD.